消費者トラブル注意報

商工観光課 ☎32-1604

偽警告表示…プリペイド型電子マネーで支払わせる手口に注意

事例

突然、警告がパソコン画面いっぱいに表示され、慌てて連絡先に電話すると「パソコンが汚染されている。電話を切らずにプリペイド型電子マネーで2万円を支払え」と指示された。すぐにコンビニで購入し、番号を伝えたが「番号が間違っている」と何度も要求された。

アドバイス

カード番号だけで利用できる電子マネーは、番号を一度相手に伝えてしまうとお金を取り戻すことは非常に困難です。絶対に番号を伝えてはいけません。

あらかじめ信頼できるセキュリティーソフトをインストールしておくなどのセキュリティー対策を行い、見慣れない警告画面の指示には、絶対に従ってはいけません。

相談は **宇城市消費生活センター ☎33−8277** へ

かしこくみんなの年金学

熊本東年金事務所 ☎096-367-2503
市民課 ☎32-1417

学生納付特例制度 手続きはお済みですか

学生納付特例制度とは

所得が一定以下の学生が申請し承認されると、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

手続きは・・・

申請書提出先

- 市民課国保年金係
- 各支所総合窓口課
- 年金事務所

申請に必要な添付書類

有効期間が表記されている学生証（写し可）または在学証明書（原本）

日本年金機構のホームページでは、20歳になった人向けに国民年金制度を動画で分かりやすく紹介しています。

動画はこちらから

郷の記憶をたどる

文化振興課 ☎32-1954

私たちが暮らす宇城市の郷土にまつわるさまざまな文化の魅力を発信します

旅猫ニャン吉企画展開催

皆さんは「旅猫ニャン吉」をご存じですか。

旅猫ニャン吉は、日本全国を旅する様子がSNSで世界に発信され、国内外で大人気の猫。インスタグラムのフォロワー数はなんと18万6,000人（3月19日現在）です。

現在、「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録5周年を記念して、ニャン吉が三角西港を含む構成資産を旅し、SNSで情報発信中。

そこで、郷土資料館（豊野町）では「旅猫ニャン吉と行く！明治日本の産業革命遺産」と題した企画展を開催しています。

九州を中心とした全国8つのエリアにある構成資産を学びながら、ニャン吉のキュートな姿をたくさん見ることができます。

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」のことを学べ、ニャン吉でも癒やされます。

「旅猫ニャン吉、世界遺産旅行」リレー展示スケジュール

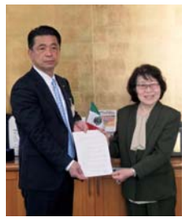
郷土資料館	7/7（水）まで
龍驤館（りゅうじょうかん）	7/9（金）から

※龍驤館は入館料が必要（団体割引あり）
大人 200円　小・中学生 100円
幼児 無料

パートナーシップ通信

人権啓発課 ☎ 32-1708　FAX 32-0110
✉jinkenkeihatsuka@city.uki.lg.jp

男女共同参画社会を目指して ～要望書を提出しました～



市男女共同参画社会推進委員会（森川公子（きみこ）会長）が男女共同参画の推進を求める要望書を3月26日に守田憲史（けんし）市長、29日に石川洋一（よういち）市議会議長に提出しました。

「防災・復興の分野において、女性の感性や視点を活かした災害に強いまちづくりの推進」「地域社会における女性の活躍推進及びワーク・ライフ・バランスの周知、政策方針決定過程への女性の参画推進」など、6項目の要望書を手渡しました。

左から
中山達郎（たつろう） 副会長
横尾七生子（なおこ） 副会長
石川洋一 市議会議長
森川公子 会長

あなたの不安に寄り添い支援する相談窓口

性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を著しく踏みにじる行為であり、重大な人権侵害です。

相談は次の相談窓口へ

性犯罪・性暴力被害者のための
ワンストップ支援センター
ゆあさいどくまもと
24時間ホットライン
☎096-386-5555
メール support@yourside-kumamoto.jp
（12/28 22時～1/4 10時を除く）

みんなで学ぼうじんけん

生涯学習課 ☎32-1934

本田博通（ひろみち）地域人権教育指導員が学校で働いていた経験などから「じんけん」の今をお伝えします

いっしょに遊んだことをおぼえていたい ー後編ー

了承もなく、お母さんに日記を見せた私はあきなさんに謝りました。

母を傷付けまいとする強い思い、それは同時に彼女を黙らせてしまうものでもありました。そんな彼女が変わっていくのは祖母の行動がきっかけでした。

「けっこん式のしゃしん」。数日後の日記の題でした。『ばあちゃんが、「写真見る?」とママのけっこん写真を見せてくれました。お姉ちゃんが来て、「これがお母さん、まだ若いね」と言って、おばあちゃんが笑いました。ママが来たので、「ママの写真だよ」と言ったら、ママが「ふーん」と暗い声で言いました』

祖母はあきなさんが友だちと「お父さん」の話ができるように、元気をなくさないように、しまっていた写真を見せられたのでした。けれどあきなさんは一緒に写っているであろう父には触れず、写真を見る母の気持ちを探ろうとしていました。「暗い声」は心象からくるものなのか。今度はあきなさんを通して家に伺いました。

あきなさんとこんな話をすることがお母さんに辛い思いをさせているのではないかと、私は率直に尋ねました。お母さんは「そんなことはありません」と答えられ、これまでのこと、父方にいる子どものことを話されました。おばあちゃんに「写真はお世話になりました」と言うと、「お父さんも元気で頑張っとらすとだけん、あきなも負けんごて、頑張らにゃあて言うて見せました」と答えられました。「はい先生、こればい。これがママ…うふふ。こっちがお父さん」と写真を持って来て説明するあきなさんに、おばあちゃんが「かっこよかけん、本田先生みたいて、わたしが言うとです」と笑われます。ありがとうございました、おばあちゃん。

水俣病患者で語り部をされていた故杉本栄子さんが、「自分に誇りを持つには、自分の家族や生まれたところを詳しく知ることだよ」と語られていたのを思い出します。家族、そして故郷に向き合うことは、自分が愛されて生まれてきた存在だと確かめることでもあるのですね。